

‘ふるさと発見’ スポット紹介



☆熊野神社



熊野神社本殿

万治元（1658）年高田村の地頭の大岡忠高（越前守忠相の父）が紀州熊野権現を勧請したといわれています。

神域の左隅に樹齢約 250 年といわれるエノキがあります。

☆本在寺

藤沢にあったものを地頭大岡忠章の妻が夫の 13 回忌にここに移し、庇護していました。供養塔があり、大岡越前守忠相が浄見寺へ墓参りに来た際はここで休んだといわれています。

門前脇に大山燈籠があり、傍に桜があります。

大岡家の供養塔



☆神明大神



歩道橋の先に本殿

新湘南バイパスで神域が分断され歩道橋を渡って本殿に行きます。水道道のそばにある梵鐘は満蔵寺（魔寺）のものです。

樹齢約 400 年のケヤキが鳥居の脇にあります。

☆水越家の長屋門

茅ヶ崎町長をした水越良介の生家で、江戸時代の名主の家の長屋門がそのまま残っています。（良介と孫の梅二は俳人、孫の茅村は書家です。）



鳥居前の長屋門

☆手白塚とえぼし岩



高台辺りが手白塚

（寛文 3=1663 年）江戸時代に小和田村と茅ヶ崎村で漁場争いが起き、幕府が手白塚からえぼし岩を結ぶ線を郷境としました。（ラチエン通り～えぼし岩）手白塚のそばには明治時代の松林村役場跡があります。

ぶらり散歩

高田バス停から東に向かうと深い小さな川が流れており、冬にはカモが来て元気に泳いでいます。

大山道を詠む吟行が行われるなど俳句が盛んな所で句碑が建っています。

熊野神社のエノキ、……神明大神のケヤキ、本在寺の大山燈籠があります。



（高田バス停からの道）
徒歩：高田（バス停）→熊野神社→本在寺→長屋門→神明大神→村役場跡→手白塚
歩程：約 1 km、約 20 分
→八王子神社→鶴が台入口
（全歩程：3 km 弱 約 1 時間）
バス停：高田（文教大学行、湘南台西口行）
鶴が台入口（鶴が台行、市立病院行、上記路線）

“ちがさき丸ごとふるさと発見博物館”

茅ヶ崎全域を博物館と見立てて、地域の宝を活用して

- ①生涯を通じて学習したことを地域に活かせる
- ②文化が身近に感じられる
- ③ふるさとを愛する気持ちを持つ仲間が増やせる

“地域（＝まち）づくり！”を目指しています。

（No.3 作成：2011.8.28、改訂：2025.8.1）

ちがさき



大山道（高田・室田）

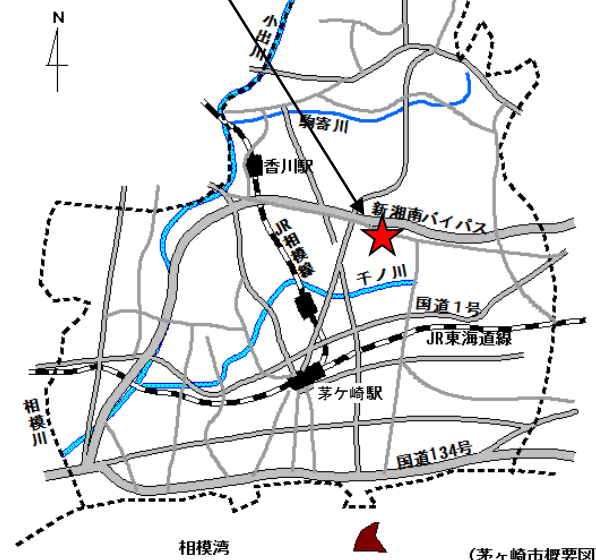


大山信仰で賑わった道

大岡越前守忠相が休憩した本在寺
鳥居前の長屋門、松林村役場跡

俳人の詠んだ句碑が残る道
神社の大ケヤキ、大エノキ

どこにあるの？



茅ヶ崎市教育委員会社会教育課

“大山道（高田・室田）”を調べる

自分で探したものを絵や写真で追加しましょう！

明治6年本在寺に正業学舎ができ、後の明治10～27年に六村学校になった跡地(1877～94)

添田唾蟬坊の句碑(杉崎家の墓地の隅)

元和2年(1616)以降の棟札が残っている神明大神(歩道橋を渡る)

治暦年間(1065～69)に源義家が勧請したといわれている。

別当満蔵寺(廃寺)の鐘

鳥居前の大ケヤキ
小栗判官伝説:馬繋ぎの松

右手の高台が手白塚(ここからえぼし岩を見て郷界を決めた。)

(1889) 明治22～41年の松林村役場跡
(明治41年に茅ヶ崎町となる)
(1908)

“ちがさき丸ごとふるさと発見博物館”



熊野神社
万治元年(1658)越前守忠相の父忠高が紀州熊野権現を勧請したといわれている。



南東隅のエノキ



カモが泳ぐ赤羽根川



本在寺
(大岡越前守が浄見寺に行く時に休んだといわれている。)

(大岡忠章の十三回忌追善で移した寺)



大岡家の供養塔

大山燈籠



高田緑地の山(水越家墓地)
(俳句を詠んだ元町長の良介)



高田村の名主
水越家の長屋門
(鳥居前)

